品質トラブルを防ぐための

化粧品の品質保証
～商品の信頼性を高めるモノ作りを目指して～

◆日　時：2019年8月23日（金）10:00～16:30
◆会　場：連合会館 404号室
（東京・JRお茶の水駅下車 徒歩約5分）

◆受講料：（消費税等込）　1名：48,600円
同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合　1名：43,200円

品質保証とクレーム対応,品質試験実施のノウハウ,設計・量産・物流・販売段階ごとの品質保証のポイント,過酷試験の留意点について詳しく解説する特別セミナー !!

【講師の言葉】

日本の化粧品は、安全・安心のグローバル商品として高い評価を受けています。各企業においてもビジネスのグローバル展開は必須の状況になっており、かつてのように、日本国内の規制のみにアンテナを張って“もの作り”をしている時代から、今や品質リスクを自ら評価し、その品質リスクに対して適切に、事前に対応を図ることが必須の状況になっています。

そこで、今回、化粧品ビジネスのグローバル展開が各社で求められている状況を鑑み、バリューチェーン分析に基づき企画段階から販売後までの自社商品の強みを再評価、再認識すると共に品質リスクアセスメントを基に講演者の具体的な品質保証体制作りの事例を学ぶことで、自社の品質保証体制の再強化、再構築の展開に繋がることを目指します。

また、最近は外部委託先を活用したビジネスモデルも多く見られていることから、外部委託先の評価の方法や監査の進め方についても学ぶことで各企業において実践的な品質保証の体制の充実化、強化に結び付くことを目指します。

【受講対象】・化粧品の企画、設計、工場、品質管理、品質保証、外部委託生産の管理部門
・初心者～実務者：処方設計者、材料設計者、品質管理部門・品質保証部門（実務者～管理者）

【予備知識】化粧品、部外品の商品と品質に関して概要が分かる方

【習得知識】
1）新製品、既存品の自社製品の強み・弱みに関する分析手法と今後の事業戦略を考える基礎手法の知識の習得
2）新製品の企画～設計～量産～物流～販売に対する保証項目と試験の概要把握と各種手法の情報の習得
3）ISO22716(化粧品GMP)の基礎知識の習得
4）外注委託生産における品質リスクアセスメントおよび監査の進め方の理解

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法
・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
・開催日の7日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
・開催日の7日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法
受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。
経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。
振り込み手数料は御社の御負担にてお願いします。

●申込先

(株)TH企画セミナーセンター
〒108−0014 東京都港区芝5 - 30 - 1 - 210
TEL：03−6435−1138
FAX：03−6435−3685
E−mail：th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 0823（開催日）

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。
http://www.thplan.com/

セミナーご案内　関連部署へご回覧願います

◆プログラム◆

【講師】　㈱ディー・エイチ・シー　さいたま岩槻工場長　鈴木　欽也 先生
元（株)資生堂 掛川工場・大阪工場　技術部長

1. 最近の市場・生産環境
1.1. 化粧品の市場状況
1.2. 企業における労働者の確保状況
1.3. 消費者ニーズと商品動向
1.4. 品質管理と品質保証の関係
1.5. お客さまが手にする化粧品の品質は?
1.6. バリューチェーン分析
1.7. 顧客分析
1.8. ISO/JIS Q 10002 苦情マネジメントシステム
1.9. 化粧品で求められる品質とは?
1.10. 品質マネジメント
1.11. ISO22716(化粧品GMP)とは?

2. 顧客満足の商品の提供とは
2.1. 顧客満足とは?
2.2. 化粧品において顧客満足度を上げるには?
2.3. ビジネスのグローバル展開への対応
2.4. ビジネスのグローバル展開におけるISO22716の位置づけ
2.5. GMP体制に関連する証明書への対応方法
2.6. ハラール化粧品への対応

3. 企画・設計段階での品質保障
3.1. 機能展開とは?
3.2. 設計の品質とは?
3.3. 原香料の保証とは?
3.4. 材料の保証とは?
3.5. 材料設計段階でのFMEAの展開について
3.6. 化粧品の有用性とは?
3.7. 微生物保障
3.8. 製品の欠陥
3.9. 品質保持の期間保障

4. 量産段階での品質保証
4.1. 作業の標準化とヒューマンエラー
4.2. 異物対策
4.3. 異種材料・異種製品混入対策
4.4. 官能検査の進め方
4.5. 外部委託先の監査の進め方
4.6. 監査事例
4.7. 品質トラブルの原因究明の手法(例)と対策の進め方

5. 物流段階での品質保証
5.1. 輸送時の品質リスク

6. 販売段階での品質保証
6.1. 販売段階での保障
6.2. お客さま視点と生産者視点の違い
6.3. 使用状況を踏まえた過酷試験について

7. 市販後の品質保証
7.1. 市販後の保障とは
7.2. 3年間保障の根拠データの揃え方

8. お客さま苦情・クレームに対する対応について
8.1. お客さまから信頼されるために・・・

●申込書 ・2019年8月23日（金）「化粧品の品質保証 ~商品の信頼性を高めるモノ作りを目指して~」

会社名		〒		住所	
TEL				FAX	
正式所属				正式所属	
受講者名				受講者名	
E-mail				E-mail	
振り込み予定				通信欄	